

生ごみ減量プログラム業務委託プロポーザル2次審査結果

A 選定委員による審査

審査項目	審査視点・基準		満点 (委員6人計)	評価点
				A者
PR戦略 【重要項目①】	(1)	認知を広げ、区民や店舗の参加に繋がる具体的な手法（キャッチコピー・PR方法等）を提案できているか。	60	40
	(2)	メインターゲットに訴求できる効果的な周知媒体を提案できているか。	60	36
	(3)	スケジュールを的確に捉え、適切なタイミングでのPRを提案できているか。	30	21
	(4)	既存事業の参加拡充に繋がる内容を提案できているか。	30	20
	(5)	生ごみ減量プログラムや区の食品ロス削減・生ごみ減量事業、板橋区一般廃棄物処理基本計画の内容を理解したうえで、生ごみ減量プログラムを横断的に捉えたキャンペーンの展開方法を提案できているか。	60	42
	(6)	キャンペーンが単発的・限定的なものとならないよう、持続可能で波及効果のある内容を提案できているか。	30	19
ナッジ 【重要項目②】	(7)	ナッジ理論の活用実績または活用例を明示できているか。	30	19
	(8)	事業にマッチしたナッジを取り入れることができるか。	60	40
デザイン 【重要項目③】	(9)	メインターゲットの訴求ポイントを的確に捉えたうえで、独創性の高い啓発物のデザインを提案できているか。	60	42
	(10)	事業の主旨を捉えたうえで、統一感のあるデザインを提案できているか。	30	24
営業	(11)	区内の店舗へ訪問する機動力と営業力（営業実績）があるか。	60	38
デジタル スタンプラリー	(12)	デジタルスタンプラリーの設計能力（データ収集能力やセキュリティ対策含む）があるか。	30	20
支援体制	(13)	業務責任者や業務担当予定者がプレゼンを行い、業務の実施体制が整っているか。	30	21
	(14)	業務量を把握し、責任者のもとに業務を行う人員が十分整えられているか。	30	20
	(15)	業務責任者や業務担当予定者に必要な専門的知識があるか、または、専門的知識を持つ人員を確保できているか。	60	38
プレゼンテーション の力量等	(16)	新たな発想による独自の提案や創意工夫、アピールしたい事項がみられるなど、本業務に対する意欲・熱意が感じられるか。	60	42
	(17)	プレゼンテーションは、分かり易く高い表現力を持っており、質疑応答については明確に回答し説得力があるか。会議運営支援等において、分かり易い資料の提供や会議運営での対応力に期待できるか。	30	19
合計			750	501

B 事務局による審査

審査項目	審査視点・基準		満点 (委員6人計)	評価点
				A者
業務実績 【重要項目④】	(18)	審査視点：当該業務を遂行するために必要な経験・実績 審査基準：過去5年間（令和3年度～令和7年度）のイベント関連事業の業務受託実績	30	30
	(19)	審査視点：官公庁主催のイベント関連事業に関する対応力 審査基準：過去5年間（令和3年度～令和7年度）の官公庁における業務受託実績	60	60
地域要件	(20)	参加者の営業拠点の所在地	30	6
提案金額	(21)	契約上限額との差	30	6
合計			150	102

合計			900	603
----	--	--	-----	-----

※ 重要項目順位 ① > ② > ③ > ④

※ 評価点が高点の場合は、重要項目順位の高い項目の得点が高い順に決定する。

※ 総得点の最低基準点（満点の6割）を超えないと契約事業者候補としない。

提案採用者	A者
事業者名	株式会社M S S
提案金額	3,759,470円